

環境情報学研究科 環境情報学専攻 修士・博士課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。そしてその教育方法に特色ある工夫を重ね、教育・研究内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

環境情報基礎、環境情報技術、環境情報応用の3分野に講義科目を配置して、情報学や情報工学を基盤に、学際的に多様な分野における、幅広い知識と技能を獲得できるよう配慮しています。社会と人間の関係を物質及び精神的にとらえ、統合的な視野から現代社会の課題の解決ができる能力を養成できる教育・研究課程を編成・実施しています。そのうえで、「環境情報学特別研究」においては、各専門分野の教員による研究指導、学内外における研究発表、論文投稿、修士又は博士論文の作成等を通して、専門的実践能力、自立し、独創性に富んだ研究能力を育成しています。また、環境情報学専攻は環境情報学分野（修士・博士）と臨床工学分野（修士）に分かれてそれぞれ高度の専門的研究を行います。

【教育の特色ある工夫】

- ・複雑な現代社会が求める学際領域において活躍できる、広い視野をもち、実践力のある人材の養成を図ります。
- ・情報学を基礎として、環境情報学、医療工学、社会環境などを含めた複合領域の課題をテーマに取り上げています。